

# 「境夢みなとターミナル」の整備が令和3年度土木学会中国支部賞を受賞しました

## 〈開催概要〉

令和4年5月25日 メルパルク広島

## 〈受賞業績〉

日本海側で随一のクルーズ拠点に向けた境港国際多目的ターミナル整備事業

## 〈受賞者〉

国土交通省 中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所

境港管理組合

国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部



## 授賞式の様子

写真左から、境港管理組合 小西 事務局長

国土交通省 中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所 笹岡 副所長

土木学会中国支部 水島 支部長

本事業は、境港におけるクルーズ船・国内RORO船の利用を想定し国際多目的ターミナルとして整備を行ったものです。整備にあたっては、周辺に軟弱地盤が広範囲に存在していたため、デタッチドケーソン構造※を採用することで、早期完成と耐震性能の確保を実現しました。

今回は、本事業が中国地方の日本海側随一のクルーズ拠点である境港を最新化し、港内外の人流・物流を促進するものである点、および軟弱地盤の課題解決と工期短縮を実現した優れた技術を導入した点が評価され受賞に至りました。

## ※デタッチドケーソン構造とは

従来の重力式ケーソン構造に比べケーソン背後の埋め立てを行わず、既設護岸との間の海上部にPC桁を架設することで岸壁を構築するもの。

ケーソンに対して土圧がほとんど作用しないため、ケーソン重力を軽くできることに加え、背後からの地震動の影響も軽減できることが特徴。



←「飛鳥Ⅱ」初寄港(令和3年4月)

↓PC桁の架設状況(令和元年11月)



## 【土木学会中国支部賞とは】

公益社団法人土木学会中国支部が中国地方の土木技術の発展に貢献する優れた業績、業務等に対し成果をたたえ、土木分野の活性化、技術の向上を図ることを目的に、土木技術による中国地方の発展に寄与する著しい業績、優れた土木施設・構造物の工事、地域課題の解決に向け取り組んだ業務・技術の普及に貢献した業務などを表彰するもの。

